

# ねぎにら栽培暦

1年目												2年目												3年目				
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
<b>「育苗」</b> ● 定植 ● 株養成												● 苗とり																
<b>「栽培」</b> ● 定植 ● 株養成												○ 保温すて刈り 収穫												○ 保温すて刈り 収穫				
● 定植 ● 株養成												○ 保温すて刈り 収穫												○ 保温すて刈り 収穫				
● 定植 ● 株養成												○ 雨よけすて刈り 収穫																
● 定植 ● 株養成												○ 雨よけすて刈り 収穫																

**栽培上の留意点**

- 品種 なかみどり
- 苗の増殖のための栽培法
  - 定植は3月下旬～6月下旬、1株1本植とし畝間40cm、株間10cmを基本とする。
  - その後の管理については、本圃の栽培管理に準じる。
  - さらに増殖効果を高めるには、10月下旬頃から保温を行うとよい。
- 収穫のための栽培法
  - 施肥は3要素各4～5kg/a程度。定植は4～5本程度、畝間40cm、株間20cm。
  - 定植後は活着を促すために、こまめに灌水する。

- ・抽だいは5月中下旬頃から始まるため、花茎は早めに除去し株の充実に努める。(花芽はおひたしに、花は天ぷらなどに利用できます。)
- ・保温開始は、休眠が明ける1月上旬以降が適する。保温の手順はビニール被覆→すて刈り→灌水→病害防除→マルチ被覆→数日後マルチ切りを行う。
- ・温度管理は保温開始当初は日中30℃とし、1週間後には25℃、2週間後以降は品質を高めるため、やや温度を下げる。夜温は5℃以上を目標とする。
- ・収穫期間中は各作型とも2～4回収穫できる。収穫期間中の肥培管理は、すて刈りおよび収穫するたびに、0.6kg/a程度を追肥するとよい。

※参考資料: 栃木県農業試験場 新技術シリーズ No.6 ねぎにら「なかみどり」の栽培技術

★「すて刈り」とは？

株を弱らせず品質を整えて増殖させるために、根元から葉を刈り取る作業です。  
 刈り取った葉・花芽・花は、おいしく料理できます。  
 (農薬散布のタイミングに、気をつけて下さい。)

**日光種苗株式会社**

日光種苗HP: <http://www.nikkoseed.co.jp/>

楽天ページ: <http://www.rakuten.co.jp/nikkoseed/index.html>